農福連携で農作業を行っています

6月25日(月)は菅野ファーム様のご協力のもと、郡山市熱海町にてブドウ農作業を行いました。郡山市事業の「農福連携推進モデル構築事業」（受託団体：公益社団法人　日本フィランソロピー協会）にキャリア・デザイナーズもコーディネート業務のサポートとジョブトレーニングの形で参画してます。福祉事業所の皆さんと共に、ブドウの一房ごとに傘かけを行っています。郡山ブランドのワイン「逢瀬ワイン」の原料になるブドウは、郡山市熱海町の山中で成長しています。

■参加者の感想

○大変見晴らしの良い所にあるぶどう畑で、郡山市街が一望でき、大変気持ちの良い場所でした。ぶどうの傘かけ作業は、　単純なようで少し難しかったですが、慣れれば集中して作業に没頭できて、時間があっという間に過ぎていきました。次回もがんばって作業したいです。

7日3日(金)は同じく「農福連携事業」の一環として、株式会社希望ファーム様のご協力のもと、福島県三春町の畑にてピーマンの農作業を実施しました。ピーマンの葉や茎の付け根から出てくるわき芽を手作業で摘み取っていき、生育の良いピーマンを収穫するための準備をしました。こうした芽かき作業は、どれを摘み取ればいいか苦戦しましたが、作業を続けるにつれて慣れて効率的に行うことができました。枝にはすでに小さな実がなっていました。

■参加者の感想

○ピーマンの芽かき作業は初めてだったので、最初は難しかったのですが、慣れてからは作業のペースも上がり、みんなでやる作業はやった所が次々と進んでいたのが分かり、やりがいを感じました。

○初めの作業でしたが、楽しかったです。普段の食卓に出るピーマンのありがたみが分かった気がします。

キャリアカフェ

キャリア・デザイナーズはカフェ開業を目指し、定期的な研修を行っています。新型コロナウイルスの流行があって正式開店まで見通しが立てずに難しい状況ですが、準備期間としてできることを少しずつやっていきます。

6月17日(水)には、ラテアートの研修を行いました。カフェラテやカプチーノの表面に、ミルクの泡によって多彩な模様を描くものです。講師は、福島市飯坂町でカフェを営む平野様が担当しました。今回は初の講習でもあり、基本となる手の動かし方から始まり、カップの持ち方、カップの移動の仕方など、ラテアートの基礎を学びました。プロの方はこうした特訓を毎日、何時間も行っているそうです。華やかで楽しいラテアートを完成させるためには、日頃の地道な努力が必要なことを教わりました。

■参加者の感想

○肘の動かし方のコツは分かったのですが、あそこまで難しいとは思わなかったです。職人芸を見ることができ、ただただすごかったです。

○思っていた以上にピッチャーの振り方は難しかったです。手首を動かさずにひじを動かすのを意図的にやったら線が上手く描けた気がしました。

○今日は事務所でカフェ研修がありました。ラテアートの練習をしましたが、難しかったですが楽しかったです。またやりたいです。

同じく7月8日(火)には、キッチンルームA-Labo(福島県三春町／ブリトマート内)にてカフェ研修を行いました。社会福祉法人郡山コスモス会の石塚忠晴会長を講師にお招きして、コーヒーについてお話を伺いました。コスモス会ではコーヒー豆を生豆から焙煎し、さらには販売をされています。仕入れたばかりの生豆や、焙煎された豆を目の前にし、数種類のコーヒーを実際に試飲しながらお話を伺いました。深煎り、浅煎り、コーヒー豆の種類など、単語は聞いたことはあっても詳しく知らなかったコーヒーに関する話題について説明していただきました。

■参加者の感想

○今日初めてカフェ研修に参加してみて、石塚先生の貴重なコーヒーについての話を聞けて良かった。コーヒーについて自分で買う時もよく見てみようと思った。

○カフェの研修で今日は講師の石塚忠晴さんのお話を聞き、コーヒーの話を詳しく知ることができて興味深かったです。

A-Laboでは先行して3月13日(金)と30日(月)に、職員とボランティアによるメニュー開発を実施しました。One豆カフェの平石様、遠藤様に提供するメニューの企画指導をしていただきました。野菜中心のメニューを提供の予定です。

スタッフ紹介

こんにちは。昨年11月からキャリア・デザイナーズの仲間になりました樽川です。よろしくお願いします。就労体験、私の場合はアパート清掃を通じて働くことの大切さ、楽しさを学んでいただけるようにサポートしていくのが仕事です。私自身も半年が経過し、ようやく慣れてきましたが、それでもまだまだ半人前です。しかしメンバーさんの立場を考えた相談・アドバイスができるよう、さらにはキャリア・デザイナーズを卒業され自立の道を歩めるよう、努めて応援していきたいと心掛けております。

就労体験（ジョブトレーニング）

5月27日(水)、NPO法人コースター(福島コトひらく)様にて就労体験を行いました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、検温やアルコール消毒の徹底、マスクの着用などを心がけています。さらには、メンバーやスタッフによるチーム作業であるため、お互いに意識して距離を置いた作業も十二分に注意しています。今回は館内の掃き掃除、トイレ清掃、テーブルや机の運搬を実施しました。

■参加者の感想

○スタッフや他のメンバーさんと声を掛け合いながら作業できました。暑くなるので熱中症には気を付けたいです。

○最後にテーブルを 2 階から 1 階に降ろす作業をしました。コースターの職員の方々に喜んでいただけてよかったです。またやりたいです。

7月10日(金)は、ご依頼のあったお墓の除草を行いました。依頼主のご先祖様が気持ちよくお盆を迎えられるよう、心を込めて作業にあたりました。今年は特に長梅雨で、天気予報のとおり小雨がぱらつく天気でした。今回はできるところまででしたが、後日、改めて作業を終えることができました。

■参加者の感想

○除草作業自体は順調でしたが、雨が降ってきて途中で作業が中断したので残念でした。

○お墓の除草では、草を取ること（根を含む）がなかなか大変でしたが、なんとかとれて良かったです！

赤い羽根共同募金の助成が決定しました

令和2年度「赤い羽根共同募金(福島県共同募金会)」の助成先として、認定NPO法人キャリア・デザイナーズが選定されました。7月28日(火)、福島市の福島県総合社会福祉センターにて交付式が執り行われました。当法人理事長の深谷舜が出席し、交付を受けました。

助成対象事業は「若者の自立を考える親と地域のためのセミナー」です。いわゆるニートやひきこもりと呼ばれる若者が、社会で置かれている状況について、皆で理解を深める機会になれば幸いです。当該セミナーは、令和3年2月6日(土)に開催予定です。詳細が決まりましたら 改めてお知らせいたします。

パブリックリソース財団「ふくしま未来基金」の助成

さらには、前年度に引き続き今年度も「生きづらさを感じているニート・ひきこもりの社会包摂プロジェクト」が事業採択されました。生きづらさを感じているニート・ひきこもりが、地域の人達と一 緒に活動をすることで温かい交流をし、彼らの社会包摂をしながら、安心して社会参加すること、働くことの楽しさを感じること、自己肯定感が向上することを図りながら、将来的な就労自立に向けて一歩を踏み出せるよう支援を展開してまいります。

メディアで特集されました

福島県のテレビ局「福島中央テレビ(FCT)」の夕方のニュース番組『ゴジてれChu!』内にて、キャリア・デザイナーズの活動風景や、当スタッフ（ジョブトレーナー）の役割が紹介されました。

フリーマガジン・Web「aruku」7月号に特集記事が掲載されました。当法人の活動を経て一歩を踏み出し、現在働いている 2 人についての記事です。